

# 農の架け橋 地域と共に

— 白子町農業委員会だより NO. 18 —



平成31年4月

編集・発行／

白子町農業委員会

農業委員及び農地利用最適化推進委員を皆さんに紹介します。

## お客様の“美味しい”の声を頼りに これからも…

白子町関 板倉 守雄 さん（農地利用最適化推進委員）

「この歳になって、やっと農業がだんだん分かってきたかな。」育苗ハウスの中で、発芽したばかりのメロン苗を確認しながら、謙虚に語る板倉さん。その脇で、今年94歳を迎える農業の大先輩 父 岩雄さんが満足そうに微笑んでいる。

会社勤めをしながら兼業農家として携わり、退職後、本格的に農業をはじめ、現在、水稲180aを取り組むとともに、アンデスメロン、南瓜等を露地栽培で手掛けている。

「若い頃は会社勤めをしながらで、正直、家の手伝いくらいでしかなかった。でも、50歳を越えたあたりから、“この後の人生を充実させるには、どうしたらいいのか”を考えたら、自然に手が伸びていた。50の手習い！？ですね。」と笑う。

「でも、やはり、試行錯誤の連続だった。天候に左右され、温度・水管理が思った以上に難しいもので…親父の偉大さを改めて気付き、また、支えてくれている地域の人たちの有り難さを感じた。」と話が続いた。



推進委員としての抱負を聞いたところ、「今の自分があるのは、地域の人たちの支えがあつてのもの。地元地域の農業の継続策を考えていきたい。また、“私のような農業の携わり方もある”ということ、多くの人に伝えていきたい。」と教えてくれました。そして、「作付けは決して大きくはないけれど、親の代からのアンデスメロンを楽しみに待ってくれるお客様がいる。お客様の“美味しい”の声を頼りに、これからも頑張っていきたい。」と話す言葉が、すっかり農業人として明日を見つめていました。



【メロン苗は、3月に露地に定植。

大切に育てられ、6月 お客様に届けられる。】

## ○農地利用の最適化の推進について

改正農業委員会法では、「農地等の利用の最適化」、すなわち、担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入を促進する活動が、農業委員会の新たな必須業務として位置づけられています。

また、その活動を推進していくこととして農地利用最適化推進委員が新設され、白子町では、9名の方が、農業委員会からの委嘱を受けています。

### ➤ 農地利用最適化推進委員 【 】担当区域

小野 一雄【北日当・南日当・福島】	板倉 守雄【関】
齋藤 重雄【北高根】	田邊 正也【浜宿】
吉井 実【牛込】	長島 幸夫【剃金】
片岡 知幸【古所・五井(東西)・八斗】	河野 一也【中里・驚】
細谷 道雄【幸治】	

### ➤ 農地等の利用の最適化の推進活動とは

#### 1. 担当地区での農地利用の最適化のための実践活動

農地利用最適化推進委員は、農業委員と連携して、次のような現場活動を行います。

##### (1) 担い手への農地利用集積・集約化

- ・集落における農業者の話し合いの場等において、農地の出し手や受け手への意向確認を踏まえ、適宜、担い手に対する農地の斡旋を行います。

##### (2) 遊休農地の発生防止・解消

- ・農地利用意向調査を徹底し、遊休農地所有者等の意向把握に併せて戸別訪問などを行い、農地中間管理機構への貸し付けを掘り起こします。

##### (3) 新規就農、新規参入の支援活動

- ・担い手が不足する地域や意欲のある担い手を確保して地域の活性化を目指す場合、個人や企業の新規参入の支援を行います。

#### 2. 総会等に参加し、農地利用の最適化推進に関する意見を述べる

農業委員会総会は、農業委員や農地利用最適化推進委員が、現場活動を通じて農地利用の最適化に取り組んだり、農地の現場確認を行ったりした成果をもとに、審議・決定を行う場です。農地利用最適化推進委員は、総会に参加し、担当地区の農地利用最適化に関する活動について報告するとともに、農地利用最適化に関する意見、または、農地の権利移動・転用にあって意見を述べます。

- (1) 農地利用の最適化について意見を述べる。
- (2) 農地利用最適化推進指針の策定(変更)に参画する。
- (3) 「農地等の利用の最適化の推進」に関する意見の提出。

#### 3. 農業委員との連携による農業委員会活動の強化

農地等の利用の最適化を進めるためには、農地利用最適化推進委員は、農業委員の「最強のパートナー」として密接に連携し、農業委員会会長のリーダーシップのもと、農地利用最適化に向け農業委員会一丸となって取り組んでいきます。

農地に係る相談は、それぞれの地域の農業委員・推進委員、または、農業委員会事務局までお問い合わせください。

白子町農業委員会事務局 0475 (33) 2115